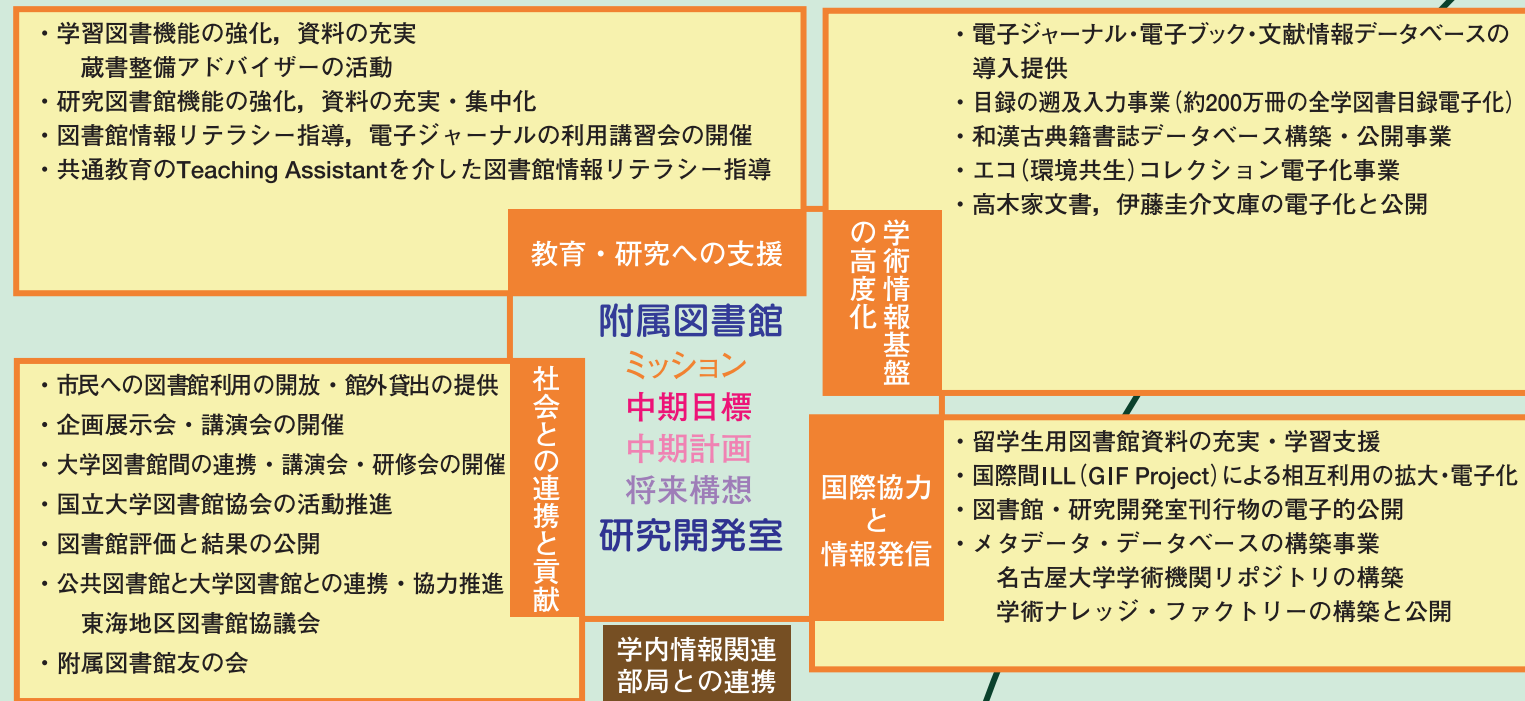


名古屋大学附属図書館の構成

名古屋大学附属図書館は、1939年に設立されました。今日では名古屋大学中央図書館、医学部分館および30余りの部局図書室で構成され、蔵書は全学で約290万冊あります。将来的には、より効率的で迅速なサービスを目指して、全学の図書館施設と図書館職員組織の集中・一元化を目指しています。

- **中央図書館**
全学の学習図書館機能と研究図書館機能、保存図書館機能を持ち、サービス・業務の総合的図書館機能を果たしています。蔵書数約105万冊。閲覧席数1千席。1981年竣工、1994年増築完成。床面積15,577㎡。
- **医学部分館および保健学図書室**
鶴舞・大幸両キャンパスの医学系研究科、医学部医学科・同保健学科、附属病院等の教職員・学生等を対象とした図書館です。蔵書数約20万冊。
- **部局図書室**
学内には、学部・研究科、研究所、センターなどの部局図書室が30余りあり、約165万冊の専門分野の蔵書を有し、専門図書館として研究者、大学院学生、学部学生等へのサービスを行っています。



名古屋大学附属図書館のミッション

1. 附属図書館は、「名古屋大学学術憲章」に基づく名古屋大学の教育研究活動が必要とする学術情報の利用提供を担う中心機関として機能し、その活動の支援を行う。
2. 急速に進む学術情報の電子化に対応する学術情報基盤としてハイブリッド図書館化を推進すると共に、名古屋大学の教育研究成果の発信機関として機能し、教育研究活動の支援を行う。
3. 高度に情報化された21世紀社会と緊密な交流を持ち、文化の継承と社会への貢献の役割を果たすため、広く自由に開かれた学術情報の利用提供を行う。
4. 学術情報の国際的な受信・発信を推進すると共に、その利用提供の中心的機関として機能し、広く世界の学術活動に奉仕する。

名古屋大学 附属図書館

Nagoya
University
Library

2006/2007

附属図書館研究開発室

2001年4月に設置された附属図書館研究開発室では、全学における教育研究の支援機能の高度化を図るため、電子情報源と伝統的紙媒体資料を統合したハイブリッド・ライブラリーの実現に向けた研究開発を行っています。

現在、室長(附属図書館長兼任)、専任の助教授、助手各1名と大学院研究科(文学1, 経済1, 医学1, 環境学1)から4名、情報連携基盤センター学術情報開発研究部門等から4名の兼任室員、また、学外から3名の研究協力者を迎えて、総勢14名で、広範な視点から研究、講義、講演会、展示会、図書職員研修などの活動を展開しています。

主な研究・活動

- ハイブリッド・ライブラリーの研究開発
- 図書館情報リテラシー教育の普及と高度化
- 貴重資料のデジタルアーカイビング
- 地域諸施設との連携と地域社会への貢献
- 研究学習情報資源の全国共有戦略
- 新しい研究手法や融合領域に対する支援

刊行物

- LIBST Newsletter (年3回)
- 附属図書館研究年報
- 附属図書館研究開発室年次報告

進化する学術情報拠点

名古屋大学附属図書館 2006/2007

平成18年9月

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

電話 052(789)3667(代表)

Fax 052(789)3693

メール shomu@nul.nagoya-u.ac.jp

URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp>



名古屋大学附属図書館 友の会

「友の会通信」の発行・配布
「ふみよむゆふべ」の開催と会員の交流
一般会員募集中です! 年会費2,000円

ご入会は、名古屋大学中央図書館2階受付、または友の会事務局(電話 052-789-3666)までご連絡ください。
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tomo/index.html>



<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/>

教育・研究用コレクションの充実

中央図書館の特色あるコレクション

中央図書館の学習用図書(約20万冊)は、全学の約70名の教員による蔵書整備アドバイザーにより、各分野別図書をすべて精査し、改訂されたものに置き換え、欠けている基本図書を購入して蔵書の内容をより新しく網羅的にする努力が続けられ、年間500冊程度が更新されています。

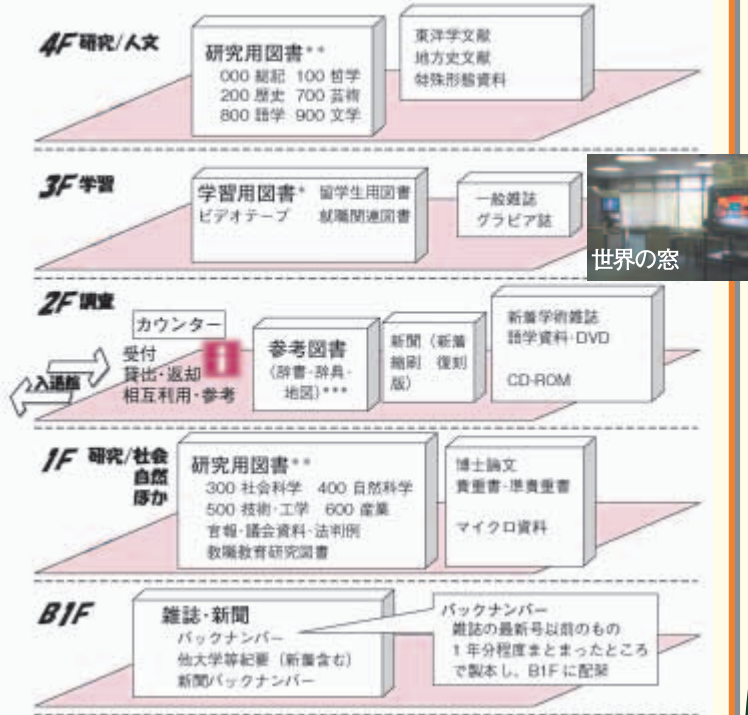
また、参考図書(約10万冊)、研究用図書(約20万冊)、学術雑誌の他、次のような特色あるコレクションがあります。

- **地方史文庫コーナー** (4階・約2千冊) 都道府県・市・区・郡・町・村の歴史書、東海・北陸地区を重点的に収集
- **東洋学文庫コーナー** (4階・約1万冊) 従来から中央図書館で収集されていた全書、叢書類が中心
- **外国文学セクション** (4階・約5万冊) 語学と文学の洋図書
- **就職コーナー** (3階グループ学習室・約150冊) 全学同窓会大学支援事業の助成を受けた就職支援の資料
- **大学教員著作・名古屋大学出版会コーナー** (3階ホール・約600冊) 名古屋大学の教員等による著作
- **留学生コーナー** (3階ホール・約600冊) 留学生用の語学資料、日本紹介資料、ビデオ、DVDなど
- **世界の窓** (3階) 海外衛星放送16chの視聴
- **官報・議会資料・法判例コーナー** (1階・約1万冊) 欧米諸国と我が国の法令集、判例集、官報、議会資料など
- **教職教育研究図書コーナー** (1階・約2千冊) 教職教育に係る関連資料、中等学校などの学校史・誌など

貴重書コレクション

- **5階 高木家文庫** 高木家文書(木曾三川の江戸時代の治水関係旗本資料 約8万点)、岡田家文書(約1万5千点)、日比家文書(約5千点)
- **1階 貴重書室** ホップズ・コレクション(880冊)、フーバッチュ教授旧蔵書(プロイセンの政治、歴史、軍事ほか 4,868冊)、リトルトン卿収集パンフレット集成(社会、教育、労働問題のパンフレット 1,593点)、H.P.イブセン博士旧蔵書(欧州の憲法、法律など 2,049冊)、伊藤圭介文庫(我が国最初の動植物図鑑 188冊)
- **1階 準貴重書室** 神宮皇学館文庫(中央図書館, 14,295冊)、岡谷文庫(同, 4,006冊)、森本文庫(同, 1,993冊)、小林文庫(同, 673冊)、青木文庫(文学研究科, 1,378冊)
- **1階 マイクロ資料室, 4階 特殊形態資料室** Early English Books(英国近世初期書籍集成 3,285ルール)、The Eighteenth Century(同18世紀 1,225ルール)、チベット仏教全書(リプリント 735冊)

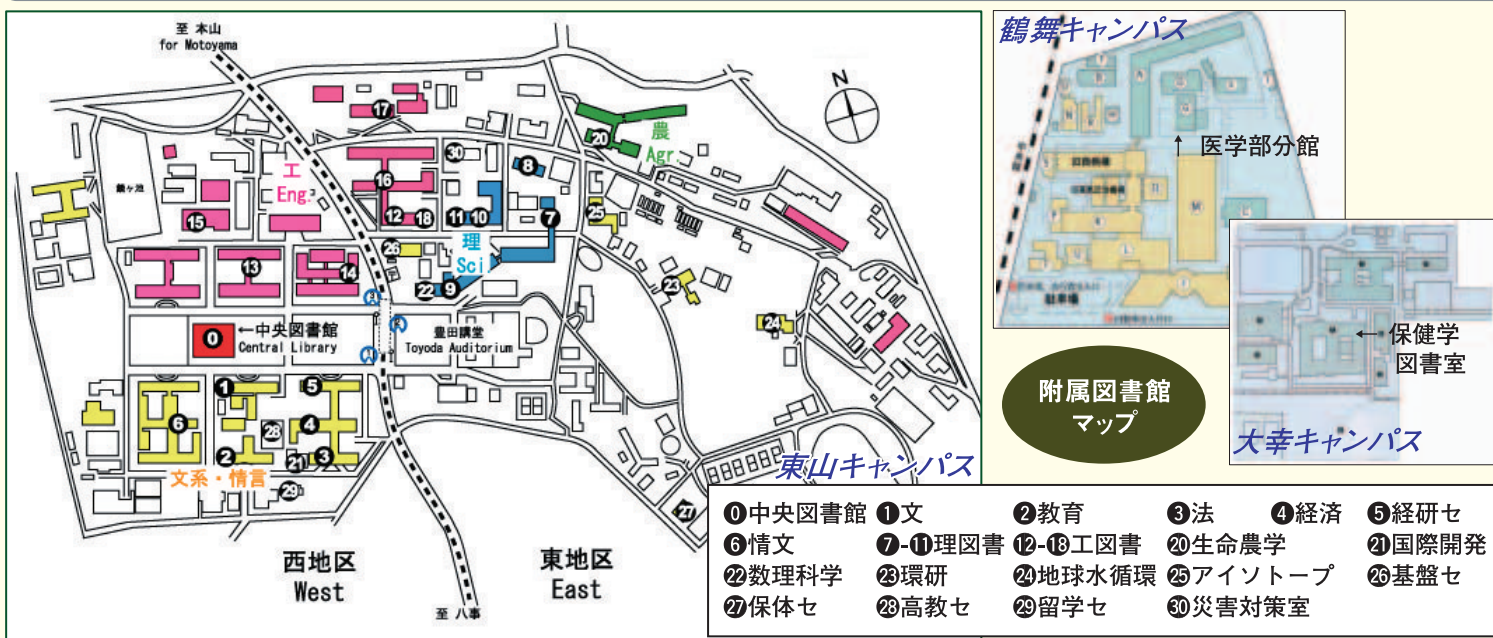
主な資料配置



部局図書室の特色あるコレクション

中央図書館を除く医学部分館はじめ30余りの部局図書室には、それぞれの分野の専門研究図書が約180万冊所蔵されており、専門学術雑誌も多くは部局図書室に備えられています。

- **瀧川文庫** (法学図書室, 中央図書館隣架, 約2万点)
- **石井文庫** (生命農学図書室, 1,635冊)
- **ベックハルト文庫** (経済学図書室, 1,962冊)
- **ヒルベルト文庫** (数理学図書室, 11,600冊)
- **イギリス革命関係文献コレクション** (経済学図書室, 664点) ほか



学術情報のデジタル化の進展



オンラインカタログ
名古屋大学と他大学の所蔵資料(図書と雑誌)の目録情報を24時間どこからでも、パソコンや携帯電話から検索できます。

パスファインダー
パスファインダーは必要な情報を収集する時に役に立つ「情報への道しるべ」です。

附属図書館ホームページ
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp>

電子ジャーナル 電子ブック
学内で利用できる1万4千タイトルの電子ジャーナルを総合的に利用するためのポータルサイトの提供と、4千タイトル以上の電子ブックを提供しています。

データベース
Web of Science, LexisNexis Academic, MAGAZINEPLUSなど学内で利用できる60以上の代表的なデータベースと、無料公開されているデータベースが利用できます。

学術機関リポジトリ
学内研究者の研究論文、学会発表資料、教材などを収集し、世界へ向けて発信しています。AKFは名古屋大学が生産、保有するデジタル情報の統合検索システムです。

所蔵資料の電子化
附属図書館が所蔵する高木家文書、伊藤圭介文庫、和漢古典籍の電子化により、普段接することのできない貴重書を公開しています。



附属図書館の刊行物
2006年春季特別展 「『地獄物語』の世界—江戸時代の法と刑罰—」より



サービスの高度化に向けて

- 2005(平成17年)
- 1 電子ブックの導入
 - 1 自動貸出し装置導入
 - 4 春季特別展「地域環境史を考へる—所蔵資料とエコ(環境共生)コレクション—データベースでみる自然・災害・社会—」
 - 6-7 企画展「説話(はなし)の書物—小林文庫本を中心に—」
 - 8 名古屋大学電子図書館国際会議開催
 - 10-11 秋季特別展「知の万華鏡—書物からみた18世紀の西洋と東洋—」
 - 10 附属図書館友の会トークサロン「ふみよむゆふべ」第1回開催(年4回開催)
 - 10 モバイルOPACでの利用状況確認サービス開始
 - 11 中央図書館の利用者用トイレ改修
 - 12 「館長と話そう! 2005」開催
 - 12 中央図書館に就職コーナー開設(名古屋大学全学同窓会大学支援事業の一環)
- 2006(平成18年)
- 1 中央図書館学習用図書の一般市民を対象とした館外貸出試行開始
 - 1 学外からのデータベース・電子ジャーナル利用サービス開始(学内構成員限定)
 - 2 名古屋大学学術ナレッジ・ファクトリー(AKF:Academic Knowledge Factory)および学術機関リポジトリ(NAGOYA Repository)公開
 - 3 名古屋大学学術機関リポジトリ公開記念講演会開催
 - 4-5 春季特別展「『地獄物語』の世界—江戸時代の法と刑罰—」
 - 5 EU資料展開催(名古屋大学EU資料センター)
 - 5 電子展示「『地獄物語』の世界」公開
 - 9 名古屋大学ホームカミングデイにおいて秋季特別展、オープン・ライブラリー、図書館見学ツアー等を実施
 - 9-10 秋季特別展「江戸時代の村と地域—美濃養老・日比家文書にみる暮らしと災害—」